平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	プレミアム商品券発行事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

事業の目的

市内消費者の生活支援と消費購買力の市外への流失防止、市内各事業所の売上向上を図る目的で、宇陀市内でのみ利用できる「プレミアム八っぴ一商品券」を発行する。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要

・実施期間　：　平成30年7月1日～平成30年12月31日
・発行者　　：　宇陀市　（委託先：宇陀商工会）
・発行総額　：　50,000,000円（5,000冊）プレミアム10%含む
　　（宇陀商工会2%負担）
・販売価格　：　1冊1万円（1,000円×9枚、500円×4枚）
・対象者　　：　市内外問わず希望者に販売（1人最高5冊まで）
・予算額　　：　委託料　7,900,000円
　　（プレミアム分　市負担4,000,000円）
　　（印刷等事務費　　3,900,000円）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

市内消費者の生活支援と消費購買力の市外への流失防止、市内各事業所の売上向上を図る目的で、宇陀市内でのみ利用できる「プレミアム八っぴ一商品券」を発行する事業に対し委託料を支出する。継続して実施することで、地域経済の循環をさらに強いものとすることができる。また、新規登録業者の増加、商品券を使った独自のサービスを行う事業者の増加、また小型店での使用も増加するサービスを考えて、経済効果ができるだけ隅々まで届くような事業の展開を宇陀商工会とともに考えていく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	7,900
H30予算額	7,900
H29 当初予算額	8,000
H29 現計予算額	8,000
増減額	▲ 100

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	8,481	8,000
従事職員数【人工】	1.00	0.70
人件費（人工×8,000千円）	8,000	5,600
総事業費：人件費含む（千円）	16,481	13,600

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	販売人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,000	単位	人	1,000	単位	人
単位当たりコスト　（円）	16,481			13,600		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[地域経済の活性化]
(1)プレミアム商品券発行事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	「ウッピー商品券」発行事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的

定住促進奨励金制度、宇陀市産木材利用促進助成制度、出産祝い金支給事業、ウェルネス事業、ぴかぴか1年生応援事業、トリプルチルドレン応援事業等に対し、市内事業者にのみ有効な宇陀市内流通商品券を発行し、市内における購買活動の増進、内需振興を図る。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要

委託先：宇陀商工会
市内流通商品券発行予定数：44,860枚（22,430,000枚）

（千円）

項　目	金　額
商品券等印刷費	1,234,018
郵送料	95,200
事務費	847,100
雑　費	23,682
合　計	2,200,000

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

ウッピー商品券の利用により、市民の市内消費が促進され、市内経済の活性化が期待される。

年度	使用状況（平成29年3月末現在）			換金期限
26	発行金額	432件	18,914,000	平成27年12月31日
	換金率	98.43%	18,617,000	
27	発行金額	539件	18,949,000	平成28年12月31日
	換金率	98.78%	18,718,500	
28	発行金額	349件	18,092,000	平成29年12月31日
	換金率	54.64%	9,885,000	

財源の内訳　（単位：千円）

分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	2,200
H30予算額	2,200
H29当初予算額	2,300
H29現計予算額	2,300
増減額	▲ 100

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,200	2,300
従事職員数【人工】	1.00	0.50
人件費（人工×8,000千円）	8,000	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	10,200	6,300

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	発行人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	451	単位	人	500	単位	人
単位当たりコスト　（円）	22,616			12,600		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
［地域経済の活性化］
(2)「ウッピー商品券」の発行

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	中小企業資金融資保証事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

事業の目的

市内の中小企業者を対象に、事業経営に必要な運転資金や設備資金の融資を、奈良県信用保証協会と金融機関の協力を得て行い、資金調達の円滑化、企業の合理化及び本市中小企業の振興発展を図る。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化

H30年度事業の概要

〇融資枠：200,000,000円
〇保証料補給金：保証料の70%を補給
〇利子補給金：融資利率の1%を補給

（千円）

項目			金額
消耗品費			30
役務費			27
補給金	保証金補給		2,770
	利子補給	26年度分	500
		27年度分	1,435
		28年度分	1,065
合計			5,827

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

中小企業の事業経営に必要な運転資金や設備資金の融資を信用保証協会が公的な保証人となることで、借入れが容易になり、また市が融資保証料の利子の一部を補給することで、資金調達の円滑化、企業の合理化及び安定運営が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	5,827
H30予算額	5,827
H29 当初予算額	6,317
H29 現計予算額	6,317
増減額	▲ 490

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,485	6,317
従事職員数【人工】	1.00	1.00
人件費（人工×8,000千円）	8,000	8,000
総事業費：人件費含む（千円）	10,485	14,317

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	融資社数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	28	単位	社	38	単位	社
単位当たりコスト　（円）	374,464			376,763		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(7)中小企業資金融資保証事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消費生活相談窓口開設事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

事業の目的

現在の消費者を取り巻く社会経済環境は大きく変化しており、商品・サービスの多様化に伴い、消費者被害も一層多様化・複雑化し、あらゆる世代で、誰もが消費者被害に巻き込まれるおそれがある。これら問題に対応するため相談窓口を設置し、安心・安全な消費生活の実現のを目指す。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第3章　第5節　安全・安心な暮らしの実現

H30年度事業の概要

〇相談日：毎週月曜日・週2回
（祝祭日、年末年始除く）
〇相談時間：13時～17時
〇相談員：1名
〇連携事業として、県消費者センターの事業を活用し、公民館事業との連携や学校等へ出前講座派遣を調整し、消費者教育を進める。

事業の目標・成果
（これまでの成果，今後の見通し）

多様な消費者問題に関心をもってもらうとともに、相談員による的確な消費者情報の提供を行い、安全安心な消費者生活を図る。

相談件数　（人）

内　容	H24	H25	H26	H27	H28
店舗販売	13	26	8	11	11
訪問販売	4	7	8	2	9
通信販売	13	11	13	5	10
マルチ商法	1	0	0	0	0
電話勧誘	5	2	2	1	3
その他無店舗	2	2	0	1	2
不明	2	9	1	2	1
合　計	40	57	32	22	36

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	373
市　債	
その他	
一般財源	631
H30予算額	1,004
H29 当初予算額	667
H29 現計予算額	667
増減額	337

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	516	667
従事職員数【人工】	0.02	0.02
人件費（人工×8,000千円）	160	160
総事業費：人件費含む（千円）	676	827

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	相談件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	36	単位	件	70	単位	件
単位当たりコスト　（円）	18,778			11,814		

特定財源の状況

市町村消費者行政活性化事業補助金
373千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
5.市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安心]
(9)消費者生活相談窓口開設事業

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	観光資源保全事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

事業の目的	宇陀市の大切な観光スポットがシカやイノシシによる獣害により新芽等の被害を受けている。獣害防護柵設置や、観光資源の修理により安定化を図る。また、風雨により荒らされた自然歩道等を修繕し、利用者の集客及び安全を図る。
根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興
H30年度事業の概要	○獣害対策 ・石楠花の植栽　864千円 　石楠花苗株　100株 ○観光歩道修繕 ・観光自然歩道等の修繕等　400千円
事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）	獣害による被害を受けている観光資源を修復し、安定化を図ることにより、観光客等の集客及び安全を目指す。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,264
H30予算額	1,264
H29 当初予算額	1,643
H29 現計予算額	1,643
増減額	▲ 379

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	1,300	1,643
従事職員数【人工】	1.00	0.60
人件費（人工×8,000千円）	8,000	4,800
総事業費：人件費含む（千円）	9,300	6,443
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	植栽整備	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	850 単位 m	850 単位 m
単位当たりコスト　（円）	10,941	7,580

特定財源の状況

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (6)観光施設、観光資源の整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ワールドメイプルパーク指定管理委託事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

事業の目的

ワールドメイプルパークはカエデを中心とした公園であり、カエデの生育管理の専門技術者がいるNPO法人に指定管理し、自然体験や学習、観光施設など幅広く関連させ、地域の活性化を図る。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要

〇指定管理者：NPO法人宇陀カエデの郷づくり
〇指定管理期間：平成30年4月1日～平成35年3月31日
〇管理施設：宇陀市菟田野古市場135　ワールドメイプルパーク
〇管理内容：施設の管理及び運営、設備の維持管理
　　カエデ等の樹木、種子の育成管理、施設の利活用向上
〇指定管理料：3,800,000円（5年間）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

平成25年4月に開園したワールドメイプルパークの施設管理運営、カエデの樹木・種子の育成管理、施設の利活用向上を、カエデの育成管理の専門技術者がいる「NPO法人宇陀カエデの郷づくり」に指定管理することで、カエデの観察、育苗などの自然体験を通し地域への流入人口の増加が図られた。
＜平成28年度来園者数＞24,600人

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	3,800
その他	
一般財源	
H30予算額	3,800
H29 当初予算額	2,500
H29 現計予算額	2,500
増減額	1,300

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	3,000	2,500
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費（人工×8,000千円）	800	800
総事業費：人件費含む（千円）	3,800	3,300
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	来園者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	24,600 単位 人	32,000 単位 人
単位当たりコスト　（円）	154	103

特定財源の状況

過疎対策事業債　3,800千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(7)ワールドメイプルパークの指定管理

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大和高原（東吉野）観光振興協議会負担金

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

事業の目的

平成24年10月に奈良県東部振興計画が策定され、観光資源の有機的連携と周遊観光ネットワークの形成のため、「大和高原（東吉野）観光振興協議会」を設置し、観光客の来訪増加と地域の活性化を目的とする。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要

大和高原（東吉野）観光振興協議会加入団体
　宇陀市・山添村・曽爾村・御杖村・東吉野村
協議会事業費　　7,000,000円（1／2 奈良県負担）
市村負担金　　3,500,000円
　宇陀市負担金　　1,500,000円
　負担金額の算出　人口割80%、均等割20%
事業概要
　パンフレット作成・観光キャンペーン・各種イベント参加
　大和高原軽トラ市等（地域産業フェア開催）

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

奈良県東部地域の美しい自然や豊富な歴史資源などを活用し、周遊型観光地としての魅力を高めることによって、自動車での周遊観光の促進による地域の活性化や滞在時間の増加、宿泊観光客の増加が図られる。
・大和高原産業フェアの開催(大和高原軽トラ市等)
・観光雑誌「じゃらん」挟み込みパンフレット（春号）の作成
・観光キャンペーンへの参加
・ワークショップの開催

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	1,500
H30予算額	1,500
H29 当初予算額	1,500
H29 現計予算額	1,500
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,295	1,500
従事職員数【人工】	0.50	0.02
人件費（人工×8,000千円）	4,000	160
総事業費：人件費含む（千円）	6,295	1,660

【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）

活動指標名	交流人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)	1,490,560	単位	人	1,390,560	単位	人
単位当たりコスト　（円）	4			1		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(9)大和高原(東吉野)観光振興協議会との連携

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	中南和観光協議会負担金事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

事業の目的

中南和地域の自治体により構成する中南和広域観光協議会を設置し、優れた観光資源が数多く存在する奈良県中南和地域の一体的な観光振興、観光事業展開を促進する。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要

中南和広域観光協議会参加自治体
宇陀市・大和高田市・天理市・橿原市・桜井市・五條市・御所市・葛城市・川西町・三宅町・田原本町・高取町・明日香村・吉野町・大淀町・下市町
宇陀市負担金　120千円
[事業概要]
インバウンド観光客を南部東部地域へ誘客するためのパンフレット作成等

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

県中南和地域が一体的に、北部に集中しがちな観光客を南部東部地域に誘客することにより、観光客を増加させ地域の活性化が図られる。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	120
H30予算額	120
H29 当初予算額	
H29 現計予算額	
増減額	120

事業のコスト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価） ・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績(見込)	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(10)中南和広域観光協議会との連携

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	レンタサイクル推進事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

事業の目的

観光誘客施策として開始された電動自転車を使ったレンタサイクル事業について、さらなる魅力を構築し、利用者の利便性や、快適性をさらに磨く事業として展開していく。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第4節　観光の振興

H30年度事業の概要

レンタサイクルの魅力アップのため、ポイントカードを作り、リピーターづくりを行う。登り旗や看板等の作成、レンタル自転車利用観光マップを作成し、さらなるPRを行う。

（単位：千円）

項　目	金額
自転車シール作成	30
看板作成	54
サイクルマップ作成	162
合　計	246

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

観光誘客施策として開始された電動自転車を使ったレンタサイクル事業について、さらなる魅力を構築し、利用者の利便性や、快適性をさらに磨く事業として展開していく。またコースの見直しや新規作成などを視野にいれた事業を展開していく。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	
その他	
一般財源	246
H30予算額	246
H29 当初予算額	284
H29 現計予算額	284
増減額	▲ 38

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		284
従事職員数【人工】		0.01
人件費（人工×8,000千円）		80
総事業費：人件費含む（千円）		364

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価) ・ 総合戦略 ・ その他(　　)

活動指標名	レンタサイクル貸出台数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績(見込)		単位		428	単位	台
単位当たりコスト　（円）				850		

特定財源の状況

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用]
(6)観光施設、観光資源の整備

平成 30 年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	毛皮革産業振興協議会負担金

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	4	産業振興センター費
細目	40	産業振興センター費

事業の目的

奈良県毛皮革協同組合連合会、奈良県毛皮革工場団地協同組合、大和毛皮革産業協同組合と連携しながら「宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会」を設立し、地場産業である毛皮革産業の育成と振興、魅力ある商品の開発、販路拡大を図る。
平成30年度は協議会内に設けた新商品開発委員会により、毛皮革産業の売れ筋新商品の開発を目指す。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第5章　第2節　商工業の活性化　地元事業所活動の促進・支援

H30年度事業の概要

宇陀市菟田野産業振興協議会の事業概要
〇宇陀市菟田野毛皮革フェア事業
　総事業費　5,000,000円　　市負担金　1,370,000円
〇宇陀市菟田野毛皮革ファッションフェア事業
　総事業費　1,600,000円　　市負担金　730,000円
〇新商品開発事業負担金　300,000円
市負担金合計　2,400,000円

事業の目標・成果（これまでの成果，今後の見通し）

地場産業である毛皮革製品を「毛皮革フェア事業」や「毛皮革ファッションフェア事業」により、市内外にPRをすることで、地場産業の育成、振興を図るとともに、魅力ある商品の開発や販路拡大を図る。

財源の内訳　（単位：千円）	
分担金	
使用料	
国　費	
県　費	
市　債	2,400
その他	
一般財源	
H30予算額	2,400
H29 当初予算額	2,400
H29 現計予算額	2,400
増減額	

事　業　の　コ　ス　ト	平成28年度（実績）	平成29年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	2,100	2,400
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費（人工×8,000千円）	4,000	4,000
総事業費：人件費含む（千円）	6,100	6,400
【活動指標の根拠】 総合計画（行政評価）・ 総合戦略 ・ その他（　　）		
活動指標名	フェア来場者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績(見込)	1,194 単位 人	1,256 単位 人
単位当たりコスト　（円）	5,109	5,096

特定財源の状況

過疎対策事業債　2,400千円

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
1.にぎわいづくり創造プロジェクト
[農林業・商工業の振興]
(11)毛皮革振興協議会負担金